

# カメムシすくい取り調査結果

令和7(2025)年8月1日  
那須農業振興事務所

## 1. 水稻ほ場における調査結果 (JA なすの、那須農業振興事務所)

地区	調査日	地点	生育ステージ	カメムシ捕獲頭数 (20 回振りすくい取り)
湯津上	7/18	佐良土	出穂前	無し
	7/18	蛭田	出穂前	無し
	7/18	狭原	出穂前	無し
大田原	7/18	練貫	出穂前	無し
	7/18	倉骨	出穂前	無し
	7/18	南金丸	出穂前	無し
	7/18	南金丸	出穂期	クモヘリ×1
	7/23	花園	出穂期	クモヘリ×1、アカヒゲ×21
	7/23	佐久山	穂揃期	無し
	7/23	南金丸	穂揃期	クモヘリ×69、アカヒゲ×2
黒羽	7/22	北滝	穂揃期	クモヘリ×13、ホソハリ×2、アカヒゲ×2
	7/22	須佐木	出穂期	クモヘリ×51、アカスジ×10
	7/22	両郷	出穂期	無し
	7/22	寒井南部	出穂期	クモヘリ×66、ホソハリ×4
塩那	7/11	高柳	出穂前	無し
	7/11	宇都野	出穂前	ホソハリ×1
	7/11	三区町	出穂前	無し
	7/22	一区町	出穂期	ホソハリ×1、アカヒゲ×2、アカスジ×5
黒磯	7/9	鍋掛	出穂前	無し
	7/9	黒磯	出穂前	無し
	7/9	東那須野	出穂前	ミナミアオ×1
	7/9	穴沢	出穂前	無し
那須	7/14	松子	出穂前	無し
	7/14	稲沢	出穂前	ホソハリ×1、アカヒゲ×1
	7/14	成沢	出穂前	無し
	7/22	寺子丙	出穂前	ホソハリ×2

すくい取り調査結果から、今年もカメムシの発生が多いほ場が見受けられます。

また、病害虫発生予察注意報第3号（7/14 発表、栃木県農業総合研究センター）では、すくい取りによる斑点米カメムシ類の捕獲数が平年の約2倍以上との結果が発表されました。

1回目の無人ヘリ散布後などのタイミングではほ場を確認し、カメムシの頭数が多い場合は追加防除を検討しましょう。

## 2. カメムシの概要と防除対策

### （1）概要

#### ○原因となるカメムシの種類

- ・ 斑点米→クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、イネカメムシ
- ・ 不稔→イネカメムシ



写真：栃木県内で水稻に加害する主なカメムシ類

左からクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、イネカメムシ（イネカメムシ以外の写真は栃木県農研センター提供）

### （2）防除対策

#### ○畦畔の草刈り（斑点米カメムシ防除）

- ・ 以下の2回のタイミングで行うと効果的

①出穂期 2～3週間前 ②出穂期頃 ※出穂期＝ほ場全体の4～5割が出穂した頃

#### なぜ畦畔の草刈りが重要なのか

→カメムシの中継地点、繁殖場所を無くすから！

斑点米カメムシは、畦畔のイネ科雑草の穂を中継地点として増殖し、水田内へ入り込む。畦畔の草刈りにより中継地点を無くすことで、水田内に飛び込むカメムシの数が減り、カメムシ被害の低減が期待できるため。

#### ○薬剤散布（斑点米カメムシ、イネカメムシ防除）

- ・ 効果的な散布タイミング

斑点米カメムシ：①出穂期 7～10日後 ②①の7～10日後

イネカメムシ：①出穂期頃 ②①の7～10日後

→斑点米カメムシとイネカメムシで、効果的な散布タイミングが異なります！

- ・ 薬剤使用前に、必ず最新の登録情報を確認しましょう



7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。  
「自分だけは大丈夫」と思わないで、こまめな休息、水分補給を！